

# 10分間

タイムリープが止まらない

中野  
劇団

# 10分間

タイムリープが止まらない (試し読み用)

作・中野 守 (中野劇団)

## 登場人物

大橋聖子 (オオハシ セイコ)

山下春親 (ヤマシタ ハルチカ)

手島圭太郎 (テシマ ケイタロウ)

湯木諭 (ユキ サトシ)

石川 (イシカワ) おっさん

店員

米村 (ヨネムラ)

エピソード0

十二月三十日、午後八時四十七分。

居酒屋「ボレロ」。

大橋聖子、山下春親が座敷に座っている。

聖子はカクテル、春親は日本酒。

※できたら聖子と春親は冒頭に何か問題と直面している方がいい。

聖子、アルバムを見ている。

聖子 めっちゃ懐かしいな。これどうしたん？

春親 こないだ手島と大学の学祭に行ってきたん。

聖子 そうなん？

春親 ほんで久しぶりに映研の部室覗いてみよっかってなって。

聖子 部員増えてた？

春親 部員増えてた。

聖子 おー。

春親 部室に棚あったやん。入ってすぐこっちに黒い。

聖子 あったっけ。

春親 本棚に脚本書いたノートが大分昔の先輩の分からずと取って

あったやん。

聖子 ああ。年代順に並んでる奴？

春親 あれなあ、全部捨てられてた。

聖子 えー？

春親 もうなあ、終わってたわ。：取りあえず、俺らの代の写真だけ回

収して来たけどな。

聖子 …。みんな若いなあ。「(アルバムに書かれた文字を読み) いくつか  
みなでこの映画撮ろうぜ」？ 誰の字や汚いな。これっていつ  
の打ち上げ？

春親 打ち上げちゃうって。ブタタローが脚本の選考会に落ちた時の残

念会。

聖子 そんなんやった？

春親 ヤったやん。<sup>2000年の秋</sup>二回の学祭で候補に挙がってたやん。先輩のほうが  
人数多かったし、引退ってこともあって、選考で落とされて。

聖子 ああ、その残念会か。

## エピソード1

聖子の手にはアルバム。春親、煙草の箱を取り出すが、空箱。八時五十分。

春親 ブタタローの脚本捨てられたってなったら、めっちゃ読みたくなってきた。誰かコピー取ってへんのかな。なあ、聖子、探してや。

聖子 自分で探しいや。でも何となくやったら内容覚えてるで？

春親 いやいやそんなっちゃうねん。緻密な設定で書いてたし。ちゃんと読みたいねん。ああもう、捨てるんやったら言うてくれよホンマ。

聖子 …チカちゃん休みいつからやったん？

春親 二十五から。

聖子 ええなあ。何連休や。ウチやっと今日からや。

春親 聖子、明日どうしてんの？

春親のズボンのポケットで携帯が着信。電話を取る。

春親　もしもし。…お疲れさん。

店員、灰皿交換に来る。

店員　失礼します。

春親　…今？　聖子が来てる。もう駅着いた？　はいはい。えつとな。「ワ

ラワラワ（アジアアジアのイントネーションで）」の看板見えてる？

…え？　何処や。今何見えてる？　…自転車乗ったおっさん？

いや動かん物で。ジャンカラの前？　その隣。…違ちゃう違ちゃうそっ

ちやなくて、そうそうあるやろ看板。そのビルの四階に「ボレロ」っ

て店あるわ。エベ、エレベーターがあるから。出て左っかわ。四

階の「ボレロ」。…ああ、聖子の名前で。おう待ってるわ。あ、手

島手島、来る時な、煙草買うて来てくれへん？　違ちゃうわ！　誰が

そんなもん頼むねん。た・ば・こー！　キャスターマイルド。うん、

聖子 一箱。はいはい。(電話を切る) 手島、もうすぐ来るって。相変わらずすっと集まんメンバーやな。これ、ネガあるなら焼き増ししたいのにな。

春親 あげるでそれ。

聖子 くれんの？

春親 まあ勝手に持って来た奴やけど。

聖子 あごーす。

皿が割れる音。

店員 失礼しましたあ。

聖子 …。

春親、鞆から包みを取り出している。

春親 …ついでに、これもはい。

聖子

何？ え？ 何？

春親

明日、誕生日やろ。

聖子

え？ 覚えててくれたん？ うわ。マジでー。ありがとう。開け

てええ？

春親

おう。

中身は熊のぬいぐるみ。

聖子

(若干白々しく) やーん、めっちゃ可愛い熊のぬいぐるみい。あり

がとお。

春親

おう。

自分の鞆にプレゼントをしまっ聖子。

春親

…もしかしてもうひとつやった？

聖子

え？ 何でそんなこと言うん？

春親 良かった？  
聖子 うん。

手島到着。手にはクリアファイル。中にチラシが見える。春親と同じデザインの服を着て来る。

手島 おう。

一同 遅い！

手島 いやあ、あの、来る途中急に前がどっちかわからんようになって。

聖子 …。

手島 ちやうで！ おまえらがリアクション取らへんと面白くないやん

け！

春親 ちよっと待って。おまえ何で服一緒やねん！

手島 え？ わ！ 嘘やん何これ！

春親 下もかよ!? え？ イズミヤ!?

手島 イズミヤ！

春親 四階!?

手島 四階! マネキンが着てた奴!

春親 マネキンが着てた奴!

手島 凄いなこれ!

春親 何で靴下まで一緒やねん! これさ、マネキンが上下とインナー

着てたからこれがカブる人は可能性なきにしもあらずやけどさ、

何で靴下まで!

聖子 それ仕込んでるやろ?

手島 違ちがうって! 今初めて知ったもん!

聖子 絶対あり得へんやん!

春親 こんなん用意する程暇とちゃうわ!

手島 同じ店で全く同じもん買ったんや。

手島 俺が先に買ってるやろ。

春親 俺やろ。

手島 あ、レシートあるわ。

春親 あ、俺もあるかも。

二人レシートを出す。

春親 うわ！ 同じ日に買うてるやん！

手島 しかもこれ、レジ同じ人やん！

聖子 それ店員めっちゃ面白かったやろな(笑)

手島 (レシート見せ) ほら見てん！ 俺の方が買ったん早い。

春親 うわ、何かめっさ悔しい。

？

手島 (煙草を取り出し渡す) これ？

春親 サンキュ。

手島 春親、おまえ説明の仕方悪いわ。ここって、こないだのバニーガ-

ルの店の隣って言うてくれたら早かったのに。

春親 あ、隣か。(にやけて) あの店やばいわー。

手島

(にやけて) な。

春親

レベル高すぎるやろ。

聖子

何、二人でオモロイとこ行ってんねん。

春親

(財布に) おお、ちよっきし小銭四百四十円や。はい。

手島

ええって。こないだのタクシー代。

春親

あ、じゃあ。

手島

せや、さっき下でがっしゃーんって音がして、ぱって見たら思いつ

きしこけてる人がおってさ。湯木っぽかってんけど。

聖子

湯木？ 湯木って湯木諭ヤスシ？ 呼べば良かったのに。

手島

煙草の釣銭取ってる間に見失ってもうて。煙草の自販機、店の入

口出たところにもあったで。エレベーターのとこ。

春親

ホンマ？

聖子

うん、あったで。

春親

今日こんだけ？

手島

米さんがこれたら来るって言うてたけど。

春親 米さん来るん？

手島 来るなら着いてなおかしいのにな。

春親 まええか。あ、手島、生？

手島 おう。

春親 すいませーん。

店員 (声) はい。

聖子 今日仕事やったん？

手島 え、休みやで？

春親 何か用事あったん？ えらい遅かったやん。

手島 ああ、コンビニでジャンプ読んでた。

春親 来いよ！ 待ってたのに。九時回ってるやんけ。

手島 回ってないって。

春親 聖子何時？

聖子 八時五十八分。

手島 ほら。

春親 一緒や！

店員がやって来て、伝票とペンを構えて片膝つく。

店員声 はい。

春親 生ひとつ。

店員 生おひとつで。(ペアルックが視界に入り、吹き出す) かしこまりました。

店員去る。聖子、春親酒を飲む。

手島 これ、こないだ持って来たん？

春親 うん。

手島 こないだ部室行って来てん。

聖子 うん聞いた。

手島 ええなあ大学生。もっかい大学戻りたいなあ。

春親 それは思わんわ。

手島 せやなあ。今は今で充実してるもんなあ。

春親 そんなこともないけど。

手島 ないわなあ。

春親 手島は楽しそうやん。いろいろしてるし。

手島 そうかも知れへんけど、当時はもっとアホやってたやん。

春親 やってたなあ。映画村で勝手に映画撮ったり。

手島 あったなあ。あの時めっちゃ怒られたよなあ。「せめて時代劇撮

れ」って。…あの時誰おった？

春親 俺と手島とブタタロー？

手島 ブタタロー、現役の後輩に知られてたよな。俺らブタタローと同

じ学年って言うたら「あー」みたいな反応やったもんな。

聖子 あの、二回の学祭上<sup>2</sup>映会<sup>0</sup>の選考会に出してたブタタローの脚本結

構良かったのになあ。

春親

あん時、一票差やってんなあ。聖子がどっちにもつかへんかったんがなあ。

聖子

ウチ、もともと映研ちゃうもん。

手島

そっか聖子『舞姫』やったな。

春親

結局、それっきりブタタローの本でできずやもんな。もう十年か。

手島

忘年会も十回目か、早いなあ。

春親

ブタタロー笑ってる…。

聖子

早いな。しみじみするの。乾杯もまだやねんけど。

手島

聖子ってどういう流れでウチに来たん？

聖子

大学入ってダンスサークル探してて、ほんで『舞姫』入ってんけど。

手島

いつからダンスやってたん？

聖子

高校から。贅肉全然なかったのにな。すっかり肉ついてもうたな。

手島

せやなあ。

聖子

…で、<sup>1999年の夏</sup>一年の夏に米村さんが舞姫の部室来て、ダンサーの役でひとり映画出てくれる子探してると言われて。

※米村とダンス部の部長が付き合っていて、聖子が怪我して、落ち込んでるから映画で使ってくれへんかと彼女が米村に頼む案。

手島 米さんか。ほんで夏合宿にはおったんか。

聖子 そそ。

春親 あれやん、結婚するやろ今度。

聖子 あーあー招待状来てた。

手島 俺、頼まれてるねん。米さんに。

聖子 何を？

手島 あの、撮影？

聖子 何の？

春親 結婚式の？

手島 結婚式の。…何か余興やってってくれて言われてんけど、そんなん

ようせんし嫌やん。

余興はなあ。

春親 でも何もせんわけいかへんからま撮影しましよっかって言って、

手島 丁度ビデオ買ったところやったし。

春親 買ったん？

手島 買った買った。やってみたかったし。(ハンディカムを構えるマイム) アングルとか結構拘りたいねん。いろいろ考えてんねん。いいビデオにしたいと思って。まあ世話になった米さんの結婚式やしな。

春親 米さんって聖子のこと好きやったんちゃう？

聖子 え？

手島 何かあった？ モーション。

聖子 あったかなそんなん。全然覚えてない。

春親 時効やん。もう結婚しはるし。

聖子 えー、全然覚えてない。

春親 おま、正直に言えや！

手島 そら米さんのことやからコクってるやろ。

※夕焼けの話を入れる。

手島 ハードディスクやから楽やで、テープやったら…。

春親 そっか、テープなくてもええんや…。

手島 テープ金かかるし、かさばるし。劣化するし。

聖子、頭を押さえる。

春親 どうした、聖子？

聖子 頭痛い…。え？ 何これ？

春親 聖子？

手島 ちよ、横にした方が。

春親 聖子？ 聖子？

聖子、ぶっ倒れる。

時間が巻き戻る音。暗転。

エピソード2 (開始)

二回目の八時五十分。聖子の手にはアルバム。春親、煙草の箱を取り出す。空箱。

春親

ブタタローの脚本捨てられたってなったら、めっちゃ読みたくなるやん。誰かコピー取ってへんのかな。なあ、聖子、探してや。

聖子

おお、びっくりしたあ。

春親

どしてん？

聖子

いや頭が。てか、またその話？

春親

忘年会っちゅーのはそういうもんやろ。毎年同じ話して…。

聖子

いやさっきの今やから。…あれ、手島は？

春親

遅いな。

聖子

トイレ？

春親

何が？ 電話してみよっか？

聖子

は？

春親

…何？

聖子 手島来たやん。

春親 は？ いつ？

聖子 さっき。

春親 え？ 来てないけど？

聖子 喋ってたやん。

春親 電話で？

聖子 は？

春親 酔うてる？

聖子 は？

聖子、グラスの酒の量が戻っていることに気づく。

聖子 なあ、ウチのお酒頼んでくれた？

春親 は？ いや？

聖子 これ、飲んだのに、増えてる…。何で？

春親 氷溶けたんやろ。

聖子 こんな増えへんやろ。

春親 ええ氷やったんやろ。

春親のズボンの中で携帯が着信。電話に出る。

春親 もしもし。お疲れさん。

店員、灰皿交換に来る。

店員 失礼します。

春親 …うん、今？ 聖子が来てる。…早よ来な聖子もう酔ってるで。

聖子 手島、さっきおったやん。

聖子、グラスの酒を不思議に思いつつ、飲む。

春親

もう駆着いた？ はいはい。えつとな。「ワラワラ」の看板見えてる？ …え？ 何処や。何が見えてる？ …自転車乗ったおっさん？ いや動かん物でお願いします。ジャンカラの前？ その隣。…違<sup>ちや</sup>う違<sup>ちや</sup>うそっちやなくて、そうそうあるやる看板。そのビルの四階に「ボレロ」って店あるわ。エベ、エレベーターがあるから。出て左っかわ。四階の「ボレロ」。…ああ、聖子の名前で。おう待ってるわ。あ、手島手島、来る時な、煙草買って来てくれへん？ 違<sup>ちや</sup>うわ！ 誰<sup>が</sup>がそんなもん頼むねん。た・ば・こ！ キャスターマイルド。うん、一箱。はいはい。(電話を切る) 手島、もうすぐ来るって。

いや、さっき来たやん。

誰<sup>が</sup>？

手島。来る途中前がどっちかわからんようになったって。

手島が、前がどっちかわからんようになった？

という遅刻の言い訳を。

聖子 春親 聖子 春親 聖子

春親 あー手島言いそうやな。  
 聖子 いやいや。ええ？ 何これ、デジャヴ？

聖子、腕時計を見る。

聖子 八時五十三分…。なあ、さっきウチ時間訊かれて八時五十八分って答えたよな？

春親 誰が訊いて？

聖子 訊いたやん。せやのに今これ八時五十三分って。

春親 訊いたって、いつ？

聖子 せやからさっき。

春親 ええ？

聖子 …なあ、何かおかしいって。

春親 …うん（聖子が）。

聖子 ウチやなくて。ええ？

春親 見間違えたんやろ。俺のも五十三分やけど。  
聖子 (笑顔で) ええ？ 何？ ドッキリ？ ちよっとえらい手え込んでるやん。

皿が割れる音。

店員 失礼しましたあ。

聖子 ……え？

春親 あ、せや、これ。

春親、鞆から包みを出す。

春親 明日、誕生日やろ？

聖子 !? これ…。

聖子、包みを渡されて啞然としてる。聖子、包みの中から熊のぬいぐるみを取り

出す。

春親

ええリアクションしてくれるなあ。…そんなに喜んでくれるとは思わなかった。

聖子

え？

春親

こっちまでグって来た。やっぱり嬉しいもんやね。だって空気読めん奴おるやん。一番嫌なのが、自分からプレゼントの話する奴。「プレゼント、待ってるねんけど？」みたいな。もう「あああ！」ってなるわ。

聖子

じゃなくて、これさつき…。

手島、到着。手には封筒と煙草。

手島

おう。

春親

遅かったなあ。

聖子

手島…。

手島 いや、来る途中急に前がどっちかわからんようになって。

春親 (聖子の予言に) え、え、え? 嘘やん!

手島 (ノリノリで) マジやって! 『あれ? 前ってどっちや、前って

何や?』ってなって!

春親 ちよっと待って! おまえ何で服一緒やねん!

手島 え? わ! 嘘やん何これ!

春親 下もかよ!? え? イズミヤ!?

手島 イズミヤ!

春親 四階?

手島 四階!

手島 マネキンが着てた奴!?

春親 マネキンが着てた奴!

手島 凄いなこれ!

春親 これ、マネキンが上下とインナー着てたからこれがカブるんは可

能性なきにしもあらずやけどさ、何で靴下まで一緒やねん!

手島 (煙草を渡す) これ？

春親 サンキユ。

手島 春親、おまえ説明の仕方悪いわ。ここって、こないだのバニーガールの店の隣って言うてくれたら早かったのに。

春親 あ、隣か。あの店やばいわー。

手島 (にやけて) な。

春親 レベル高すぎるやろ。

聖子 ちよちよちよ、何なん？

手島 は？

春親 おお、ちよつきし小銭四百四十円や。はい。

手島 ええって。こないだのタクシー代。

春親 あ、じゃあ。

手島 …さっき下でさ、がっしゃーんって音がしてさ、ぱって見たら思  
いっきしこけてる人がおってさ。よう見たら――

聖子 湯木っばい人がこけてた。

手島 そうやねん、自転車とぶつかって、え？ 何でわかったん？ 上

から見てた？

いや…。

手島 声掛けようかと思ってんけどな。

煙草のお釣り取ってる間に見失ったんやろ？

手島 ええ？ 何それ？ 凄いな、勘。

(勘やなくて…)

手島 何か猛然と自転車追いかけてった。

春親 キレて？

手島 かな？ びっくりしてたみたいやったけど。

春親 今日こんだけ？

手島 米さんがこれたら来るって言うてたけど。

春親 米さん来るん？

来るなら着いてなおかしいのにな。

春親 まええか。あ、手島、生？

手島 おう。

春親 すいませーん。

店員 (声) はーい。

店員、やって来て、春親と手島の格好を見て一瞬怯む。

店員 はい。

春親 生ひとつ。

店員 生おひとつ。(二人を鼻で笑う) かしこまりました。

店員去る。聖子、自分の鞆を確かめる。春親に貰った熊のぬいぐるみがない。

聖子 あらへん!?

春親 何が?

手島 モラル?

聖子 は!?

春親 (聖子が) さっきから変やねん。どしてん？

聖子 プレゼントがない。

春親 持ってるやん。

聖子 じゃなくて、さっき貰った…。

春親 は？ 何を貰ったん？

聖子 熊のぬいぐるみ。

春親 持ってるやん！

聖子 何なんこれ!<sup>この状況</sup>

春親 熊やん！

聖子 …チカちゃん、ウチの靴触ってないよな。

春親 は？

聖子 これ…、さっきと同じ時間、繰り返してる…。

手島 同じ時間、繰り返してる？

聖子 こんなことってある？

手島 …こないだ夜中にな、喉が渴いたからジュース飲もうと思って台

聖子

春親

聖子

二人

聖子

手島

聖子

手島

聖子

春親

所行ってさ。パッと時計みたら丁度夜中の〇時で、ほんで、あれ、俺、今何しに来たんやろってど忘れして。で、部屋戻って。せやせやジュースやって。で台所行って、エエツ？（またど忘れ）いや、全然違う…。

エエツ？ 俺、飲み物のこと何でもジュースって言うてる？（みたいなの）。

聞いて！

はい？

時間繰り返してる。

え？

時間繰り返してる。

あつ、うん（今）。

今のはおまえが言わせたんやん！ え？

わからへんの!?

みんな大変どすなあ。時間が戻ったり、前がどっちかわからんようになったり。

聖子 なあ、ホンマに繰り返してんねんて。

手島 湯木連れて来れば良かったな。

聖子 湯木？

手島 あいつ、時間繰り返す話書いたとか言うてたから。

聖子 話？

手島 趣味で小説書いてるらしい。

聖子 ちよ、湯木呼ぼうや。まだその辺におるやろ？

手島 かけてみよっか？

電話を鳴らす。

手島 …「現在使われておりません」。

聖子、その場で膝から崩れ落ち、頭を押さえる。

聖子 あれ、またや。何これ。

春親

え？

聖子

あかん。

手島

大丈夫か？

聖子、ぶっ倒れる。

時間が巻き戻る音。暗転。

つづく。